



## Index

ネズミ対策について

食中毒予防のポイント

ホームページについてお知らせ

季節のムシ暦 (48)

FCCブログ

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail [info@fccsystem.co.jp](mailto:info@fccsystem.co.jp)

## 食中毒予防のポイント

食中毒と言えば夏と言うイメージが強いかと思いますが、食中毒の原因菌となる菌やウイルスは様々な種類があり、その中には涼しくなってきたから猛威を振るうものもあります。

菌やウイルスによる食中毒を発生させない為には、何よりも**日頃の予防対策が重要**になってきます。

食中毒予防対策のポイントは

- ①加熱殺菌
- ②調理器具の使い分け
- ③冷蔵庫・冷凍庫での保管

の3点です。

具体的には、①中心温度が85℃以上となる様になるべく小さく食材を切る。②肉や魚用とそれ以外の食材用のまな板と包丁を用意し、使用する事。③冷蔵庫や冷凍庫で食材を保管する事の徹底です。

また、FCCでは食中毒発生の際や予防の為の殺菌消毒作業も承っております。もしお困りの際は、御連絡下さいませ。



## FCCホームページについてお知らせ

この度、FCCではツイッターの公式アカウントを取得致しました！

新たに開設致しました総合的な害虫駆除専門サイト、害虫駆除.comの更新情報などを発信していきます！

今後は更新情報だけでなく、これからツイッターのアカウントからお客様へ衛生関連の情報などを発信していきたいと思っておりますので、是非ともフォローしてみてくださいませ。

また、害虫駆除.comはゴキブリ駆除、ネズミ駆除やコバエ駆除、その他害虫駆除などを取り扱っております総合的な害虫駆除専門サイトになります。

害虫駆除.com

<http://www.gaichuu-kujo.com/>

も是非ともご覧になってみて下さい。

アカウント名は  
**@FCC\_System**  
になります！



## ネズミが生息しにくい環境作り

食材や壁などをかじり、様々な被害をもたらす存在であるネズミ。今や都市部を始め様々な場所に侵入し、生息しています。

お客様もネズミの直接的な被害に遭われたり、腐敗臭などでお困りになった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回はこの都市部などで被害をもたらすネズミについて改めてご紹介します。

都内など都市部で見られるネズミはクマネズミやドブネズミ、ハツカネズミなど様々な種類がありますが、その被害の殆どがクマネズミによるものと言っても過言ではありません。



※画像はクマネズミの写真です。

クマネズミは高い場所に登る事が得意で、警戒心が非常に強く、環境の変化にも敏感に反応し、学習能力も高いネズミと言われています。乾燥した場所、穀類や野菜などの植物性の食料を好む傾向にあります。

また、身軽で運動能力も高く、**垂直の壁を縦横無尽に移動する事が出来る**為、ビルの上階や天井裏などで多く見られるのも特徴です。

殺鼠剤に対する抵抗性も他のネズミに比べて強く、**スーパーラット**と呼ばれる事もあります。

クマネズミなどネズミによる被害は食品をかじられたり、家具や壁、ケーブルなどをかじられる**経済的被害**は勿論ですが、ネズミ自身が保菌しているサルモネラ菌による食中毒や、風邪に似た症状に加え黄疸や肝臓・腎臓障害などを引き起こすウイルスなど感染症の**衛生被害**の原因にもなります。

FCCではネズミの習性などを基にしたFCC Rat System(ネズミ駆除システム)にて経費を度外視した粘着マットの設置、防鼠作業、忌避剤散布や殺鼠剤の設置を行っていますが、**ネズミの被害を未然に防ぐ為には、何よりネズミが生息しにくい環境である事が重要です。**

その為には、**①餌を与えない ②巣を作らせない**の2つの要素が必要不可欠です。

まず①餌を与えないという部分では、ネズミの餌となる食品は出来るだけ**蓋付きの容器や戸棚などで保管する事**。生ゴミも蓋付きの容器に入れ、まめに出す事がポイントとなります。

次に②巣を作らせないという部分は、巣の材料となりやすい**プラスチック容器やチラシ、新聞紙などの紙類、ビニールなどが床に落ちていない事**がポイントとなります。

これらが床に落ちている状態ですと、侵入してきたネズミの格好の巣の材料となりますので、**ゴミが落ちたら直ぐに拾う**などして頂けると効果的です。

以上の2つの要素を実施して頂く事によって**ネズミが生息しにくい環境にする事が出来ます**。是非とも参考にしてみてくださいませ。



【ハチというムシの意外な働き】

暫く猛暑に呻いていたが、台風15号を境に急激に涼しさを増した。心配なのは、体調の環境への順応のありようだ。

こんな折、思いもかけなかった「メロン？食中毒、米で15人死亡」なる新聞記事が眼に飛び込んできた。起因菌は、なんと食品中や土壌に広く分布する常在菌、リステリア菌である。あまり気にしていない菌である。

欧米先進国では時に、この菌による集団中毒が発生している。しかし、わが邦にあつては集団中毒事例が無く、行政上の食中毒菌に指定されていない。とは云うものの生活の場は変わりつつあって、今後ともそうであると断定は出来ない。用心するにこしたことは無い。

この時期、用心したいのは涼しさで、はっと一息すると思わぬ被害をもたらすのが「スズメバチ」と云う、ハチによる刺傷事故である。このスズメバチは、盛夏を過ぎる秋口になると、翌年の準備のため、活動が活発化し獍猛(ドウモウ)になるようだ。これからの「ハイキング」には、ハチに“ご用心”を。

さて、私達はこのような「ハチ」のことをどの程度知っているだろうか、少しのぞいてみたい。殆んど人は無関心であるが、知る人は「怖い虫」の印象が強く、ましてや人の役に立つと思う人など稀だろう。このハチは、虫の世界で「膜翅目」と称する大きな集団に属しているがその種類数も多い。一般によく知られているのは、恐らく「蜂蜜」の生産者であるミツバチと人を襲い、死者を出すこともあるスズメバチぐらいであろう。

話題になるスズメバチによる刺傷は、ハチの腹部末端の産卵管によるものである。したがって、加害者は雌バチなのである。ただし、産卵管は“刺す道具”では無く「卵」を産むためのものだ。

この「ハチ」の攻撃性は昔の人に好まれたらしく、ハチにまつわる昔話が少なくない。よく知られているものに次の話がある。昔、京都のお金持ちの商人が宝物を運ぶ途中、鈴鹿の山中で野盗に襲われた時、日頃、酒を与え可愛がっていた「ハチ」に助けられたと云うもので「今昔物語」と云う草紙にある。このハチは、餌の与え方や山中であることなどから、おそらく「スズメバチ」だろう。

スズメバチの一生はただ労働に終始する「働きバチ」、ひたすら卵を産み続ける「女王バチ」の世界である。この女王の旺盛なる繁殖力を支える働きバチの餌集めは大変なもので、虫や小動物を捕り続ける「捕食昆虫」、さしずめ生きた殺虫剤と云うところである。

私達の身近にいる悪いハチ、人を刺すのはアシナガバチ類、スズメバチ類である。問題のスズメバチの毒はセロニン、ヒスタミン、マストパン、ハチ毒キニンなどである。不幸にも、刺された時には抗ヒスタミンまたはコーチゾン軟膏を塗布するとよい。しかし、体温の降下などの異常時には、直ぐに病院へ行くこと。

最近、実感した「ハチ」の有効性を紹介したい。春先、“桜前線”を楽しむが、この桜には虫が着き易い。このムシの多発ぶりは周辺の民家にも迷惑をかけ、“不快害虫”騒動を巻き起す。また、殺虫剤散布をすると別の問題が起る。こんな虫には、サクラノアブラムシ、ニセナミハダニ、モンクロシャチホコ、ヒロヘリアオイラガ、コスカシバなどで、問題なのはこの幼虫である“毛虫”である。

この所、異常多発生をくり返すものに、モンクロシャチホコがいて、8月頃から9月下旬に姿を見せる。この虫は、桜の他、ウメ、モモ、ナシ、ビワ、クヌギなどの葉を暴食する。老熟幼虫は吐いた糸で下って地上に降る。色や姿が“異常”で、不快性と地面を赤黒く汚す不潔性が問題である。

この問題児にやや変化が生じた。それは周辺の都市化が進み、「ハチ」が増え、これがモンクロシャチホコの若い幼虫をせっせと捕食する状況が見られるようになったハチの効用か、例年の「虫降り現象」が激減したのに驚いたが、その反面「都市化」と云う現象が人の生活に良いのか、否かに悩む所だ。それにしても、「ハチ」の潜在能力には驚きもし、見直した。



〔写真説明〕  
悪ムシをせっせと捕食するハチ！！  
これは生きた殺虫剤だ。

FCCブログ — FCCの代表、深澤正司の『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

やっぱりこうなりました。

今日は朝から仕事です。本当はいろいろあるのですが、経営者の仕事はお金の事、社員の事、将来の事です。社員には社長の仕事は分かりません。なれば分かります。

でも社員は社員で大変です。当社の社員は忙しいです。施工も営業も。理解しています。営業は若い社員が頑張っています。

でも成長過程です。自分でやりたいなあ〜、って感じるときがあります。

でも我慢です。ここでやってしまうと元のままです。施工の時と一緒に。あとリーダーの意味は辞書を引くと分かります。自ら牽引車になる。みんな役割を果たしているか？

体制が間違っているのではないかな？そう感じます。適材適所は教育よりも大切と学んでいます。でも中小企業は適所に限りがある。

会社がダメになるのも簡単。社員のコップが下に向けばいいだけです。下に向くには下を向いているほんの一部の言動や行動に影響される場合があります。

インフルエンザと一緒に。私はあまり社内にはいません。でもほんの小さなことを見逃さず、修正を加えなければなりません。今はまだそれをいつも見えてない。

育てます。でもイライラします。前向きな私でも悶々としてます。

仲間の経営者と別件でメールのやり取り。海辺のレストランでランチらしい。綺麗だって。いい天気だって。

そうだ！私も仕事はお開きです。ビールを持ってリーフさんと海まで散歩。



小一時間だらだらしてました。海っていいよね 完全に切り替わります。

パソコンからFCCブログをチェック！

FCCニュースに掲載しているブログの記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

FCC ゴキブリ駆除

検索

FCCブログ — FCC施工スタッフの『日々を綴るウチダブログ』より

知識と体得

今日は江の島ドラゴンボート大会！

・・・でしたが雨の為延期です。楽しみを来週までとっておけたと思えばよしとしましょう☆

昨日は社内研修がありました。

イキイキと働くには？皆いい意見が出ます。今まで教えてもらった事がどんどん出てきます。

しかし、皆自分が出来ているかと質問されると首をかしげます。知ってるのと出来ているのは別です。

日常レベルで物事を行うには意識と心にしっかりと刷り込まないと難しいです。

しかし、知っている事で判断ができます。物事や生き方の方向性も見えます。

何も知らず、今自分がどういう状態か分からない事が一番困るのかもしれない。

少しずつ焦らずに心に刷り込んでいき体得していきたいと思います。